



治癒切除不能な進行・再発の高頻度 マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌 適応追加のお知らせ

謹啓

時下、益々ご清祥のことと心からお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、この度小野薬品工業株式会社ならびにブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社のヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体「オプジーボ[®] 点滴静注 20mg/100mg/120mg/240mg」ならびにヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体「ヤーボイ[®] 点滴静注液 20mg/50mg」におきまして「治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌」の適応が追加されましたので、ご案内申し上げます。

「オプジーボ[®]」ならびに「ヤーボイ[®]」は今後、大腸癌患者さんへの一次治療における新たな選択肢として治療に貢献できるものと考えております。

今後とも尚一層のご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2025年8月

効能又は効果

オプジーボ／ヤーボイ

治癒切除不能な進行・再発の高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)を有する結腸・直腸癌

用法及び用量

オプジーボ

イピリムマブ(遺伝子組換え)と併用する場合は、通常、成人にはニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを3週間間隔で4回点滴静注する。その後、ニボルマブ(遺伝子組換え)として、1回240mgを2週間間隔又は1回480mgを4週間間隔で点滴静注する。

ヤーボイ

ニボルマブ(遺伝子組換え)と併用において、通常、成人にはイピリムマブ(遺伝子組換え)として、1回1mg/kg(体重)を3週間間隔で4回点滴静注する。

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤/ヒト型抗ヒトPD-1モノクローナル抗体

オプジーボ[®] 点滴静注
20mg, 100mg, 120mg, 240mg

ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注)}

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

OPDIVO[®]
(nivolumab)

薬価基準収載

抗悪性腫瘍剤/ヒト型抗ヒトCTLA-4モノクローナル抗体

ヤーボイ[®] 点滴静注液
20mg, 50mg

イピリムマブ(遺伝子組換え)製剤

生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品^{注)}

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

YERVOY[®]
(ipilimumab)

小野薬品工業株式会社

ブリストル・マイヤーズ スクイブ 株式会社

2025年8月作成
O-Y-02832M2508